

2025 年度草枕ファン倶楽部総会 & 記念シンポジウム「草枕と着物研究会」

ご案内

日時：2025年5月24日（土） 会場：草枕交流館映像ホール

●草枕ファン倶楽部総会（10:00～）

議案1、2024年度事業報告及び会計報告

議案2、2025年度事業計画及び予算案

○俳句フォト夏目漱石の旅（9期）表彰式（10:20～）

●記念シンポジウム「草枕と着物研究会」（10:30～）

小説「草枕」に描かれる着物—漱石の着物好み—

パネラー

■安達絵里子氏（着物エディター）—「草枕」に描かれる着物研究から—

■田島三間氏（草枕交流館句会講師）—着物を詠んだ漱石の俳句から—

■村田由美氏（草枕交流館館長）—漱石の着物好みから—



画工は、
和服、羽織姿に帽子



茶屋の婆さんは、
袖無しの上から襷をかけて
「針も持ちます、芋もうみます」



那美さんが振袖で、
「裾模様は何を染め抜いたものか…」
明治に盛行した曙染め？！



普段の那美さん
銀杏返しに髪を結
い、銘仙の着物に
黒縹子の片側帯

那美さんのお嫁入りは、
裾模様の振袖に高島田
「折角の島田に斑が出来ました」

漱石の着物の俳句
「我も人も
白きもの着る
涼みかな」

漱石の普段着
漱石の長襦袢
Etc.



シンポジウムはどなたでも参加できます。参加費無料

お申し込み：草枕交流館 TEL/0968-82-4511